

## 平成27年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成28年3月

松山市（愛媛県）

○計画期間：平成26年11月～平成32年3月（5年5月）

### I. 中心市街地全体に係る評価

#### 1. 平成27年度終了時点（平成28年3月31日時点）の中心市街地の概況

##### [全体概況]

松山市では、平成26年10月に新たな基本計画について内閣総理大臣の認定を受け、「訪れたいくなる都心としての機能強化」、「都市型観光地としての魅力向上」、「安心して住み続けられる豊かな生活環境の充実」を目標に、新計画に掲載する62事業（重複含む）の活性化施策を推進している。

最近の状況としては、平成20年1月の閉鎖以来、長年の懸案であった「大街道二丁目東地区優良建築物等整備事業（ラフォーレ跡地）」が、平成27年8月にAEL MATSUYAMAとして完成し、同時に官民連携の景観整備（道路・アーケード改良）も行われた。

これに伴い、平成28年の地価公示で「大街道2の4の13」及び「大街道3の2の36」は上昇したほか、定期的実施している歩行者通行量調査でも18,601人と前年比で32%増加している。更に、周辺では大手民間ホテルが平成28年3月に開業するなど、中心部の民間投資に好循環が生まれている。

##### [事業等の実施状況]

総事業62事業（重複含む）のうち、主要事業は計画どおり実施されており、全体として概ね順調に進捗している。

#### 2. 平成27年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

松山市中心市街地活性化協議会は、平成19年8月の設立以降、行政との連携を密にし、中心市街地活性化の総合的かつ一体的な推進に尽力してきたところである。基本計画と連携しながら、まちづくり初動期支援や空き店舗対策等を行うとともに、勉強会やシンポジウムの開催等を通じて市民や関係者の中心市街地活性化の機運の醸成に努めている。

こうした取組の結果、3つの目標指標のうち「観光客数」は目標を達成、「居住人口」は微増、「歩行者通行量」については昨年度より増加しており、全体的に評価できる結果と考える。

特に一番町交差点周辺では、民間再開発や景観整備（アーケード、歩行者空間等）が完成し、まち全体のイメージも明るく活力あるものへと変化した。

これらの効果を途切れさせることなく持続させ、確実なものとするためには、引き続き新たな基本計画のもとで中心市街地の活性化に取り組むことが必要であり、協議会としても行政と一層の連携を図りつつ、更なる活性化に向けて努力していきたい。

## II. 目標毎のフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
訪れたい都心としての機能強化	中央商店街の歩行者通行量(休日)	127.9 千人 (H25 年)	170.6 千人 (H31 年)	141.1 千人 (H27 年)	①	①
都市型観光地としての魅力向上	中心市街地内の観光客数(5施設)	1,710 千人 (H25 年)	1,810 千人 (H31 年)	1,902 千人 (H27 年)	①	①
安心して住み続けられる豊かな生活環境の充実	中心市街地内の居住人口	18,091 人 (H25 年)	18,600 人 (H31 年)	18,260 人 (H27 年)	①	①

#### <取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

### 2. 目標達成見通しの理由

#### ① 中央商店街の歩行者通行量（休日）

平成 25 年まで減少傾向が続いていたが、平成 26 年に微増（0.3%）、平成 27 年には前年より約 1 割増加し、141.1 千人となった。これは、大街道二丁目の再開発ビルの建設や、一番町交差点の景観整備が平成 27 年 8 月に完了したことによるものと考えられる。

目標値（170.6 千人）まで開きはあるが、公民一体で商店街の回遊性向上等の事業に取り組んでいることから、期待が持てる状況にある。

#### ② 中心市街地内の観光客数（市有 5 施設）

「瀬戸内・松山」構想等の取組みが功を奏し、1,902 千人（前年比 4.6%）と前年度に続き、目標値（1,810 千人）を上回る観光客数となった。

#### ③ 中心市街地内の居住人口

平成 16～25 年の 10 か年は約 0.17%の微減だったが、平成 26 年には前年比 0.4%増（18,156 人）、平成 27 年には前年比 0.6%増（18,260 人）と小幅ながら増加傾向にある。

目標値（18,600 人）との差はあるものの、今後も複数の新築分譲の予定があることや、松山駅周辺土地区画整理事業が進捗することから、人口増加が見込まれ、目標達成は可能と見込まれる。

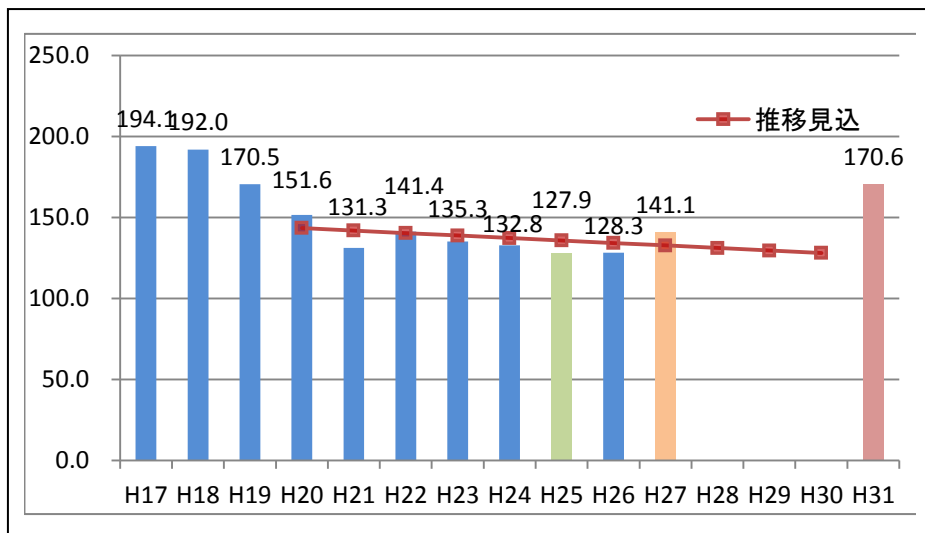
### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップの実施から変更はない

#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「中央商店街の歩行者通行量（休日）」 ※目標設定の考え方基本計画 P90～P97 参照

##### ●調査結果の推移



年	歩行者通行量（千人）
H25	127.9 千人 (基準年値)
H26	128.3 千人
H27	141.1 千人
H28	
H29	
H30	
H31	170.6 千人 (目標値)

※調査方法：歩行者通行量調査

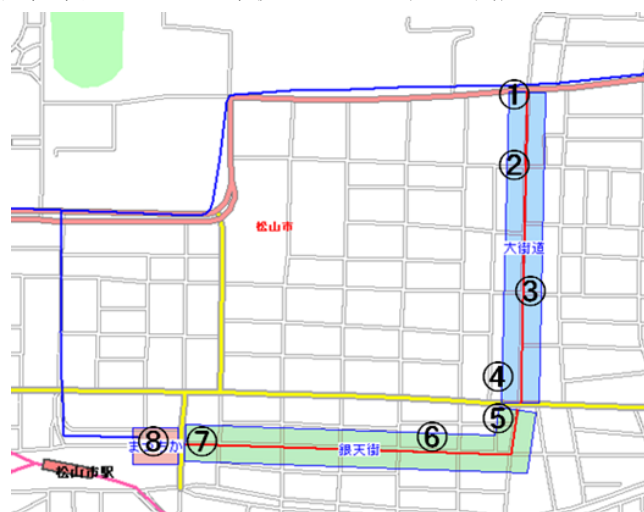
※調査月：毎年11月の日曜日

※調査主体：松山市、まちづくり松山、松山商工会議所

※調査対象：歩行者のみ、11月の日曜日8地点の合計、午前10時から午後8時まで（10時間）

※調査地点：

- ①大街道北口（ファースト前）
- ②大街道/二番町通り交差点（セブンイレブン前）
- ③大街道/三番町通り交差点（レイカズン前）
- ④大街道南口（アイビル前）
- ⑤銀天街北口（いよぎん南ビル前）
- ⑥銀天街3丁目西口（三浦屋前）
- ⑦銀天街4丁目西口（伊予銀行湊町支店前）
- ⑧まつちかタウン中央（とんかつ活よし前）



##### [参考指標]

数値指標	基準値	最新値	前年比
路面電車年間輸送人員	6,620 千人(H24 年度)	6,909 千人(H26 年度)	+0.6%
大規模小売店舗商品販売額	70,805 百万円(H24 年度)	68,337 百万円(H26 年度)	-3.5%

※路面電車年間輸送人員[調査方法]；

路面電車(伊予鉄道(株) 軌道 市内線)の年間乗車人数を集計

※大規模小売店舗商品販売額[調査方法]；

中心市街地内の大型小売店(面積 3,000m<sup>2</sup> 以上)を対象に市独自調査(アンケート)で集計

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 大街道二丁目東地区優良建築物等整備事業（森ビル（株））

事業完了時期	【済】平成27年度
事業概要	平成20年1月に閉館したラフォーレ原宿・松山の跡地において、優良建築物等整備事業により、ホテル・商業・ブライダル複合施設を整備するとともに、良好な歩行者空間の整備も併せて行い、中心商店街の賑わい拠点となる施設づくりを目指す。 地区面積：約0.3ha 敷地面積：約1,850㎡ 延床面積：約11,000㎡（地上13階）
事業効果又は進捗状況	・平成26年4月 着工 ・平成27年8月 完成 商店街通行客の減少や商品販売額の低下の歯止めとなるよう整備され、整備から3ヶ月後に実施された歩行者通行量調査では、施設付近の通行量は前年より32.4%増加した。

② 二番町三丁目南第一地区優良建築物等整備事業（ゴンドラ）（有）ゴンドラ

事業完了時期	【実施中】平成25年度～
事業概要	大街道商店街の周辺地区で商業ビルを建築するとともに、地区全体の環境改善と安全かつ快適な歩行者空間の確保を図ることで、賑わい再生や雇用創出等、中心市街地の活性化を行う。 面積：約0.1ha 整備内容：店舗、賃貸住宅等
事業効果又は進捗状況	・平成27年10月 着工 ・平成29年2月 竣工予定 関係者間の調整に時間を要し、事業進捗に遅れが生じていたが、既に着工しており着実に進捗している。 また、当該事業に併せて、三越～ゴンドラ～お城下パーキングを連結する立体的遊歩道の整備に向けた取組みが進められている。

③ 大街道内道路、アーケード空間形成計画の策定（松山市および商店街ほか）

事業完了時期	【実施中】平成26年度～
事業概要	ラフォーレ跡地再開発（大街道二丁目東地区優良建築物等整備事業）と連動して、周辺の道路景観整備（カラー舗装、植樹等）や空間整備等を行う【一番町大街道口景観整備事業】。
事業効果又は進捗状況	<p>・平成27年8月 完成【一番町大街道口景観整備事業】</p> <p>市は歩道整備や照明柱等の設置、国土交通省は車道のカラー舗装、地元商店街はアーケードのリニューアルを行うなど、公民連携の整備により交差点の一体感を演出し、賑わいを創出した。</p> <p>また、当該事業を契機として、意欲ある民間事業者が公民の空間を一体的に管理・活用し、エリア価値向上を図る公民一体型空間形成の検討が進められている。</p>

④ 一番町大街道口アーケード改良事業（松山大街道商店街振興組合）

事業完了時期	【済】平成27年度
事業概要	ラフォーレ跡地再開発（大街道二丁目東地区優良建築物等整備事業）と連動して、一番町大街道口アーケードのエントランス部分を改良した。
事業効果又は進捗状況	<p>・平成27年8月 完成</p> <p>エントランス部分の改良をメインストリートの賑わいづくりにつなげている。</p>

⑤ 市街地総合再生基本計画に位置付ける拠点空間の再開発推進（松山市、松山市中心市街地活性化協議会等）

事業完了時期	【実施中】平成26年度～
事業概要	中心地区で行われる再開発のマスタープランとして策定した「中心地区市街地総合再生基本計画」にて拠点空間に位置付けた一番町交差点周辺、L字周辺、松山市駅周辺において、市街地再開発事業や優良建築物等整備事業等を中心とした老朽建物の更新を促進することにより、魅力ある都心拠点空間の整備を推進していく。
事業効果又は進捗状況	<p>・一番町交差点周辺については、平成26年7月に地元団体、学識経験者及び関係行政機関で構成する検討組織を設置し、平成27年8月にアーケードの改良や舗装整備等を実施。公民連携の整備により、交差点の一体感を演出し、賑わいを創出した。</p> <p>・L字地区については、開発のあり方を示した「基本計画」の策定に向けて、平成27年11月に地元団体、学識経験者及び関係行政機関で構成する検討組織を設置。平成28年度中の基本計画策定を目指し、検討を重ねている。</p> <p>・松山市駅周辺については、平成27年10月からワークショップを開催。地元団体、地元企業及び学識経験者等が参加し、松山市駅周辺の将来のあり方について、意見交換を行っている。</p>

⑥ まちなか子育て・市民交流事業（松山市）

事業完了時期	【実施中】平成 23 年度～
事業概要	来街者への託児サービスや休憩場所の提供、情報発信およびイベント、会議等が開催できる交流スペース機能を備えた都心の拠点施設を整備している（愛称「まちコミュスポット てくるん」）。
事業効果又は進捗状況	・平成 28 年 3 月に開館 4 周年を迎えたが、累計で 44 万人が入場するなど好評である。

⑦ 商店街および他のイベントとの連携による共同販促事業（㈱まちづくり松山、松山中央商店街連合会、各商店街、各実行委員会等）

事業完了時期	【実施中】平成 19 年度～
事業概要	中心市街地内で開催される催事について、近接する地域間でイベント開催日程の調整やイベントの共同実施、販促事業の連携などを展開することにより、回遊範囲の拡大及び回遊時間の延長を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・お城下スプリングフェスタ</li> <li>・お城下ホコ天パーク</li> <li>・城山門前祭り（ロープウェー商店街）など</li> </ul>
事業効果又は進捗状況	・平成 28 年 3 月 19 日～20 日に開催の“お城下スプリングフェスタ”は 4 年目を迎えたが、調査を行った 20 日だけで約 5 万 5 千人弱が来街するなど好評であった。

⑧ まちなか広場事業（中心市街地賑わい再生事業）（松山市）

事業完了時期	【実施中】平成 26 年度～
事業概要	平成 26 年 11 月より、湊町三丁目の平面式駐車場を借り受け、芝生広場化するとともに、交流施設（松山アーバンデザインセンター）などを併設し、各種イベントなどを開催する社会実験を実施している（愛称「みんなのひろば」）。
事業効果又は進捗状況	・平成 26 年 11 月 開設 ・休日は約 350 人/日が利用。地域のイベントと連携して利用時間を延ばすなど、地域に根差した取組みを行っている。

⑨ 松山アーバンデザインセンター [UDCM] の設置 (松山市、松山市都市再生協議会など)

事業完了時期	【実施中】平成 26 年度～
事業概要	公・民・学の連携のもと、地域主体のまちづくりを進める松山アーバンデザインセンター [UDCM] の拠点施設が湊町三丁目に設置された (平成 26 年 11 月)。施設には、都市デザインに関する専門知識と実務経験を有する専門スタッフが常駐し、地域の民間のまちづくり活動への技術的支援を行っている。
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年 11 月 開設</li> <li>・開設当初、多目的スペースの月毎の利用者数は 1,000 人前後だったが、平成 27 年度は約 1,530 人と増加傾向にある。</li> </ul>

⑩ (歩いて楽しい健康増進まちづくり) 花園町線整備事業・市駅前空間改変事業 (松山市)

事業完了時期	【実施中】平成 29 年度
事業概要	城山公園と市内最大のターミナル松山市駅を結ぶ花園町線 (幅員 40m) において車線を減らし、歩行者、自転車に再配分するとともに、オープンカフェなど人が滞留する居場所を整え、銀杏並木や芝生などを生かした風情ある空間整備をすすめている。
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24 年度 事業開始</li> <li>・平成 27 年度 無電柱化工事</li> <li>・平成 28 年度 無電柱化工事・道路再配分工事</li> <li>・平成 29 年度 道路再配分工事</li> <li>・無電柱化事業に併せて、歩行者及び自転車利用者がゆったりと安心して通行できる広場的空間を形成することで、人やまちの賑わいを創出する。</li> </ul>

⑪ 二番町線整備事業 (松山市)

事業完了時期	【実施中】平成 29 年度
事業概要	中心市街地を東西に走る「市道二番町線」において、電線類の地中化事業にあわせて、道路空間の再配分および道路景観整備を行っている。
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24 年度 事業開始</li> <li>・平成 27 年度 無電柱化工事</li> <li>・平成 28 年度 水路改修工事・交差点照明工事</li> <li>・平成 29 年度 無電柱化工事・道路再配分工事</li> <li>・無電柱化事業に併せて、歩行者及び自転車利用者が安心して通行できる道路空間を形成することで、人やまちの賑わいを創出する。</li> </ul>

## ●目標達成の見通し及び今後の対策

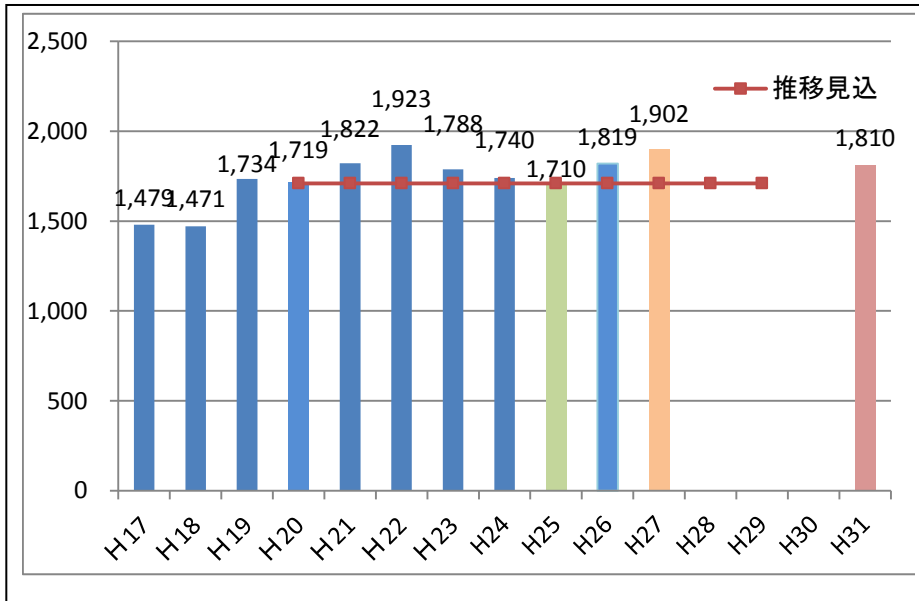
中央商店街の歩行者通行量（休日）は、平成 25 年まで減少傾向が続いていたが、平成 26 年に微増（0.3%）、平成 27 年には前年より約 1 割増加し、141.1 千人となった。これは、大街道二番町の再開発ビルの建設や、一番町交差点の景観整備が平成 27 年 8 月に完了したことによるものと考えられる。目標値（170.6 千人）まで開きはあるが、公民一体で商店街の回遊性向上等の事業に取り組んでいることから、期待が持てる状況にある。

今後も事業を推進することにより、商店街の通行量減少や売上げ低下に歯止めをかけ、商店街全体として来街者の回遊促進を図り、もって『訪れたい都心としての機能強化』を実現していく。



「中心市街地内の観光客数（市有5施設）」※目標設定の考え方基本計画 P98～P104 参照

●調査結果の推移



年	観光客数 (千人)
H25	1,710 千人 (基準年値)
H26	1,819 千人
H27	1,902 千人
H28	
H29	
H30	
H31	1,810 千人 (目標値)

※調査方法：市有観光5施設の入場者数の年間入場者を集計

※調査月：毎年3月（前年の1月～12月の合計）

※調査主体：松山市

※調査対象：松山城天守閣、道後温泉（本館及び椿の湯）、子規記念博物館、坂の上の雲ミュージアム、二之丸史跡庭園の入場者合計

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 「瀬戸内・松山」魅力創出事業（松山市、瀬戸内・松山ツーリズム推進会議）

事業完了時期	【実施中】平成24年度～
事業概要	瀬戸内海国立公園の広島と松山を結ぶエリアは、多島美に代表される島々が織りなす魅力が集まり、風光明媚な風景、歴史、文化、産業など、多様な観光資源の宝庫であり、内外の多くの観光客から高い評価を得ている。こうした瀬戸内海の魅力を最大限に引き出し、物語を演出しながら、広島地域の資源と、愛媛・松山の資源を組み合わせ、磨き上げ、各種事業を展開していく。
事業効果又は進捗状況	1つの目標としていた、道後温泉本館改築120周年など3つの周年が重なった平成26年は、観光客が570万人を超え、道後温泉の宿泊者数は、過去10年間で最高の数字を記録した。 平成27年も、道後温泉宿泊客が過去15年で最高の93万人、松山城ロープウェイ・リフト利用者が120万人を超え、過去15年で最高となるなど観光客が増加している。

② 観光まちづくり事業（着地型商品「松山はいく」の販売促進等）（松山はいく運営委員会）

事業完了時期	【実施中】平成 21 年度～
事業概要	市内の地域資源を活用した「ガイドと巡るまち歩き（松山はいく）」や「俳句や文学」を活用した世界的俳句大会の開催などによる観光誘客を推進するため、地元経済団体や観光関係団体、学識経験者等で組織する「松山はいく運営委員会」等で事業を実施している。
事業効果又は進捗状況	「着地の魅力づくり」と「情報発信」を連動させた観光まちづくりの実施や「松山・俳句=HAIKU」の知名度・ブランディングを向上による、滞在時間の延長、交流人口の拡大および地域内消費額の増大など、一過性に終わらない観光誘客を目指している。 (平成 27 年度 松山はいく利用者数 約 3,700 名)

③ 観光おもてなし対策、おもてなし日本一推進事業（松山市、松山商工会議所、瀬戸内・松山構想推進会議）

事業完了時期	【実施中】平成 19 年度～
事業概要	平成 25 年 3 月、地域に根付くおもてなし風土をいかしながら、まちの「おもてなし力」を向上させるため、松山市と松山商工会議所、瀬戸内・松山構想推進会議が連携して、「おもてなし日本一のまち」宣言を行い、「おもてなし日本一推進事業」を実施している。
事業効果又は進捗状況	「おもてなし日本一のまち松山」PR 映像の一般公開を皮切りに、訪れた方へのおもてなしグッズ作成、周知用ののぼり・ポスター等を作成した。また、松山商工会議所・松山大学・（公財）松山コンベンション協会と連携し、地域の歴史やおもてなしについて学ぶ「ふるさとふれあい塾」を開催。

④ 観光誘致促進事業（修学旅行、国際観光客）（松山市、（公財）松山観光コンベンション協会）

事業完了時期	【実施中】平成 21 年度～
事業概要	修学旅行の実情や要望等を分析し、誘致戦略を練り直しながらターゲットを絞りつつ、学校および旅行会社等に対して、誘致宣伝活動を行うとともに、（公財）松山観光コンベンション協会等と連携しながら外国人観光客の誘致促進を図っている。
事業効果又は進捗状況	国や大手旅行会社に対して、広域観光ルートや松山の魅力を PR してきたことや、台北市との友好交流協定締結をはじめとした台湾との交流事業の進展などにより、外国人観光客が大きく増加している。

⑤ 愛媛国体開催推進事業、国民体育大会（愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会）観光 PR 事業（愛媛県、松山市）

事業完了時期	【実施中】平成 26 年度～
事業概要	平成 29 年に開催される国民体育大会 愛顔(えがお)つなぐえひめ国体及び全国障害者スポーツ大会（愛顔つなぐえひめ大会）において、松山市で開催される競技について円滑に準備、実施することを目指す。 また、この機会を活かし、参加する選手・監督等関係者や観覧される全ての方々に再度、松山に来ていただくための観光 PR を実施する。
事業効果又は進捗状況	愛媛国体の開催に向けて関係団体と協議を重ねており、啓発グッズの作製や関連イベントの開催など、積極的な広報活動を行っている。 観光 PR については、再訪につながる効果的な手法を検討しており、平成 28 年度から開催するリハーサル大会において、全国から訪れる選手・監督等の参加者に観光パンフレットを配布するよう準備を進めている。

⑥ 道後温泉活性化事業（120 周年記念事業、「伊佐庭如矢」顕彰事業）（松山市）

事業完了時期	【済】平成 26 年度
事業概要	道後温泉本館改築 120 周年を記念し、「最古にして、最先端。温泉アートエンタテイメント。」をテーマに、体験型アートイベント「道後オンセナート 2014」を開催する。また、道後湯之町初代町長の伊佐庭如矢氏を顕彰するシンポジウムや企画展示、各種イベント等を行う。
事業効果又は進捗状況	「道後オンセナート 2014」によって、アートと地域資源が融合した新たな魅力を発信することができた。この取組は、新規のファン発掘に繋がっており、平成 26 年の道後温泉本館入浴客数は前年より約 6.3%増加、道後温泉宿泊者数は前年より約 8.6%増加した。 また、道後温泉本館改築を行った伊佐庭如矢氏を紹介する冊子等を市内小中学校等に配布したほか、テレビによる全国放送、シンポジウムを開催したことにより、功績を広く周知した。

⑦ 椿の湯施設整備事業（松山市）

事業完了時期	【実施中】平成 25 年度～
事業概要	椿の湯について、地元の活性化に寄与する施設として、魅力のある浴室及び休憩室に加え、道後温泉の歴史や「椿の湯」の由来などを解説する情報発信スペースを併設し、来訪者が歴史・文化を体感しながら保養できる交流型施設として整備する。
事業効果又は進捗状況	現在、工事の入札に向けた準備を行っているところで、平成 29 年の完成を目指している。日本最古の湯を再現した、新たな温泉施設の整備を行うことで、その後予定されている道後温泉本館の保存修復工事による影響緩和や、新たな魅力発信による観光客の増加につなげる。

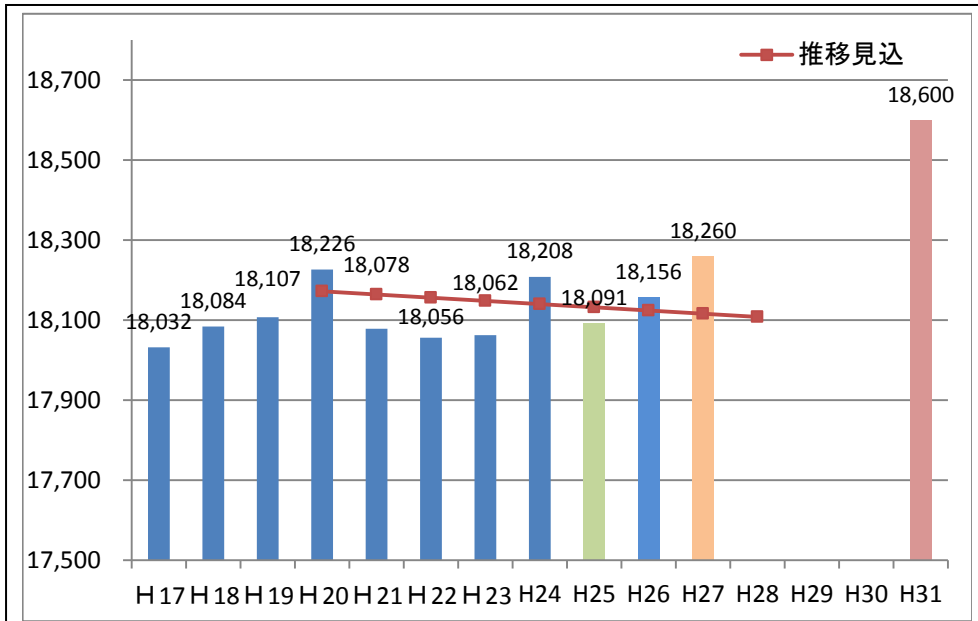
## ●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地内の観光客数（5施設）は「瀬戸内・松山」構想等の取組みが功を奏し、1,902千人（前年比4.6%）と前年度に続き、目標値（1,810千人）を上回る観光客数となった。

今後も、松山城や俳人正岡子規ゆかりの地である都心部と道後温泉のある道後地区とで連携しながら、一体的な観光振興策に取り組むこととしている。

「中心市街地内の居住人口」 ※目標設定の考え方基本計画 P105～P108 参照

●調査結果の推移



年	人口
H25	18,091 人 (基準年値)
H26	18,156 人
H27	18,260 人
H28	
H29	
H30	
H31	18,600 人 (目標値)

※調査方法：中心市街地活性化基本計画区域内の町丁の居住人口（住民基本台帳人口）を集計

※調査月：毎年10月1日

※調査主体：松山市

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 新住宅マスタープランに基づく事業展開（サービス付き高齢者向け住宅の誘致ほか）（松山市）

事業完了時期	【実施中】平成26年度～
事業概要	<p>平成26年3月に策定した「住宅マスタープラン」に基本方針として“街なか居住・市街地整備の推進”を掲げ、以下の施策メニューに取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口回復のための民間活力を活用した優良な賃貸住宅の供給促進（地域優良賃貸住宅等）</li> <li>・既成市街地の老朽公営住宅建替による高度利用や住環境の改善</li> <li>・既成市街地の住宅ストックの有効活用</li> <li>・サービス付き高齢者向け住宅の中心市街地への誘致</li> <li>・中心市街地共同住宅供給促進事業について検討</li> <li>・民間再開発（優良建築物等整備事業など）による住宅整備の推進</li> </ul>
事業効果又は進捗状況	松山市のサービス付き高齢者向け住宅の登録戸数（2,163戸、平成28年2月末時点）は中核市で全国トップの状態になっている。

② 松山駅周辺土地区画整理事業・松山駅周辺まちづくり事業（松山市）

事業完了時期	【実施中】平成20年度～
事業概要	松山駅周辺地区は、松山空港や松山観光港と並ぶ広域交通の結節点であることから、「集客・集住・コンパクトシティ」を目標に、関係機関が一体となり、連続立体交差事業と土地区画整理事業に取り組んでいる。 施行面積：約16.7ha
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年6月 事業計画の決定</li> <li>・平成24年3月 一般地権者への仮換地指定を通知</li> <li>・平成26年1月 工事着手</li> <li>・平成28年3月 6街区及び7街区の一部で土地の使用収益を開始（面積：約0.61ha）</li> <li>・当該事業に併せて、駅前広場のレイアウトおよび路面電車の引込み・延伸に向けた計画策定に取り組んでいる。</li> <li>・車両基地跡地の活用 平成27年5月「松山駅周辺地区車両基地跡地利用に関する基本構想」策定</li> </ul>

③ 二番町三丁目南第一地区優良建築物等整備事業（ゴンドラ）（(有)ゴンドラ）

事業完了時期	【実施中】平成25年度～
事業概要	大街道商店街の周辺地区で商業ビルを建築するとともに、地区全体の環境改善と安全かつ快適な歩行者空間の確保を図ることで、賑わい再生や雇用創出等、中心市街地の活性化を行う。 面積：約0.1ha 整備内容：店舗、賃貸住宅等
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年10月 着工</li> <li>・平成29年2月 竣工予定</li> </ul> <p>関係者間の調整に時間を要し、事業進捗に遅れが生じていたが、既に着工しており着実に進捗している。</p> <p>当該事業に併せて、三越～ゴンドラ～お城下パーキングを連結する立体的遊歩道の整備に向けた取組みが進められている。</p>

#### ④ 松山赤十字病院整備事業（松山市）

事業完了時期	【実施中】平成26年度～
事業概要	中心市街地の北部に立地する松山赤十字病院（文京町1）は、基幹病院として救急医療やがん治療など各医療を提供するほか、地域医療支援病院、災害拠点病院として地域にとって重要な役割を担っている医療機関であるが、施設、設備が老朽に加え、耐震化を図る必要があり、機能更新を含む建て替え事業を進めている。
事業効果又は進捗状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成27年 6月 1期工事 着工（北棟他）</li><li>・平成29年 9月 1期工事 完成</li><li>・平成30年 1月 2期工事 着工（南棟他）</li><li>・平成32年 8月 2期工事 完成</li><li>・平成32年12月 3期工事 着工（外構他）</li><li>・平成33年 9月 3期工事 完成</li></ul>

#### ●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地内の居住人口は、平成16～25年の10か年は約0.17%の微減だったが、平成26年には前年比0.4%増（18,156人）、平成27年には前年比0.6%増（18,260人）と小幅ながら増加傾向にある。

目標値（18,600人）との差はあるものの、今後も複数の新築分譲の予定があることや、松山駅周辺土地区画整理事業が進捗することから、人口増加が見込まれ、目標達成は可能と見込まれる。